

## 7-1 出欠の確認①（自動出欠の設定）

講義時間にコースにアクセスした学生の出欠を自動でつける【自動出欠】を設定して、学生の出欠管理を行うことができます。設定された時間を基に出席・遅刻・欠席を判断し、講義の出欠状況を一覧にして表示します。また、Excelなどでデータをダウンロードすることもできます。

※ 【自動出欠】はコース上に1つのみ設定可能です。

1 【自動出欠】をコースに導入する。

①画面右上の  をクリックし、ブロックドロワを開きます。

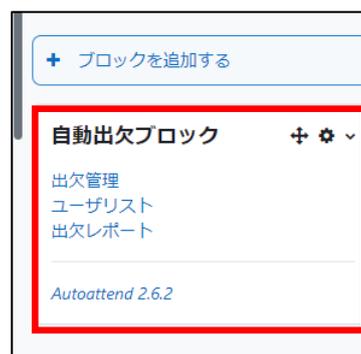


②『ブロックを追加する』

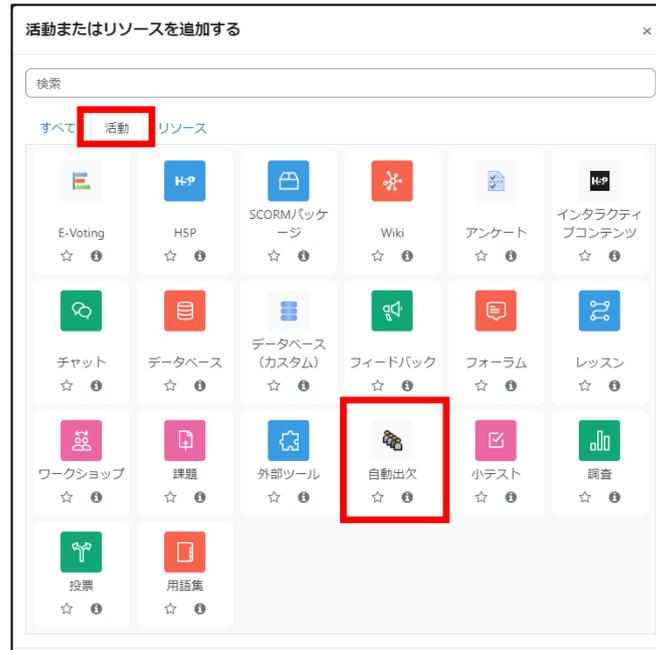


③『ブロックを追加する』ダイアログボックスが表示されるので、『自動出欠ブロック』をクリックします。

『自動出欠ブロック』が表示されます。



- ④一番上のセクション（【アナウンスメント】がある場所）の【活動またはリソースを選択する】をクリックし、【活動】から【自動出欠】を選択します。



- ⑤【名称（必須）】、【説明（必要に応じて）】を入力します。

▼ 一般

名称

説明 

↕ A ▾ B I ≡ ≡ 🔗 🔄 🖼️ 📄 🎤 📺 📄 H5P

コースページに説明を表示する ?

チェックを入れると、コースストップページでトピックの下に表示されます。

- ⑤ 【自動出欠モジュールのオプション】で自動出欠についての詳細を設定します。  
設定が完了したら、【保存してコースに戻る】をクリックします。

▼ 自動出欠モジュールのオプション

ユーザ名管理	<input type="text" value="ユーザフルネームを使用する"/>
教師へのキー通知	<input type="checkbox"/> 教師に出席キーをメール通知する機能を有効にする
教師への結果通知	<input type="checkbox"/> 教師に出欠結果をメール通知する機能を有効にする
学生への通知	<input checked="" type="checkbox"/> 学生に出欠確認をメール通知する機能を有効にする
ホームルームモジュール	<input type="checkbox"/> ホームルームモジュールからのアクセスを許可する
夏時間の使用	<input type="checkbox"/> 授業の設定時に夏時間が指定できる。
Excel2007の使用	<input type="checkbox"/> レポートのダウンロードに古い Excel (Excel2007) のフォーマットを使用する
出欠データのバックアップ	<input type="checkbox"/> コースをバックアップする時に、自動出欠ブロックが管理するデータもバックアップする
アンケートリンク	<input type="checkbox"/> アンケートリンクの表示

【学生への通知】をチェックすると、出席確認時に学生の学内メールにメールが送信されるようになります。出席がなかった場合も、講義時間終了後に欠席のメールを送信します。

《注意》

【教師への通知】をチェックすると、学生への通知が一部送信されない不具合が確認されています。学生への通知を行うよう設定する場合は、必ずチェックを外してください。

> タグ

> コンピテンシ

コンテンツ変更通知を送信する

必須入力

設定が終わったら、『保存してコースに戻る』をクリックして完了です。